



第75回 地域支え合い研究会

コロナで見えた、医療設計の盲点

講師：済生会宇都宮病院 救命救急センター長 小倉崇以氏

【概要】 栃木は、関東で唯一、高度救命救急センターを設置できていない自治体です。宇都宮&塩谷2次救急医療圏におけるICU病床の設置数は、全国平均の半分 2.8床/10万人しかありません。事実、コロナ禍では県外へ救急搬送される患者や、望む治療を受けられない患者が県内で多発しました。脆弱な医療基盤のもとで県民の命を守るために奮闘した演者からポストコロナにおいて思うことについて述べると共に、演者自身が、わたしたちの大好きな栃木の医療の“これから”について、参加者の皆様と顔を突き合わせて一緒に考えてゆきます。

日時 2024年 1月27日(土) 午後6時より

場所 **西原地域コミュニティセンター**

宇都宮市西原 1-7-1 (西原小学校敷地内)

会費 300円

主催 地域支え合い研究会

後援 西原地区連合自治会、西原地区社会福祉協議会

申込み 申込フォームまたは Fax(028-638-2177)

参加申込フォーム



※次回 2月10日(土) 18時より、西原コミセンにて、
テーマ「(仮)病院のケースPSW」野口氏 による講演を予定しています。

お問合せメール sasaeaikenkyukai@gmail.com

地域支え合い研究会:村井邦彦(村井クリニック院長)・福田智恵(西原地区 090-1794-1221)

第75回 地域支え合い研究会 参加申込み

氏名	連絡の取れる連絡先 電話 携帯	所属(自治会・団体・会社等)
住所	メールアドレス	
参加の動機	会場参加 ・ ZOOM参加 (後日URLをお知らせします)	